

2022 年度学習院大学海外留学奨学金  
留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部／研究科                      心理学科／専攻                      4年（留学年次） 4年（帰国年次）
公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 ソウル市立大学 人文学部 英語英文学科
	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2022年      3月      1日    ～      2022年      12月      21日 出国日                      2022年                      2月                      19日 最終帰国日                      2022年                      12月                      25日

留学の状況について、各項目について書いてください。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

## 1. 留学全般について

### (1) 「学習院大学海外留学奨学金」の主な支出内容と金額の内訳

JASSO の奨学金も共に申請したため、学習院大学海外留学奨学金は 7.5 万円でした。JASSO の奨学金で賄うことができなかったお金をこちらの奨学金で賄っていました。食事や洋服代などに支出していたと思います。

### (2) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初は、日本人と韓国人の行動傾向の差異を探求することが一つの目的だったのですが、留学前の日本人とは考え方が違うという韓国人への思い込みとは違い、実際には日本人と似ている部分が多々ありました。韓国は、朝鮮戦争などによって経済発展が遅れたことが要因の一つではあると思いますが、日本の東京よりはソウルは発展してないと感じる部分があり、日本や欧米に早く早く追い付こうとする勢いを感じました。韓国人の口癖は”빨리 빨리(早く早く)”という言葉なのですが、それが韓国人の口癖になった要因なのではないかとも思いました。このような差異はありますが、留学生として欧米の学生と交流する機会はあった一方で、韓国人の友達の方が話しやすかったり、笑いのポイントが同じであったり、授業は休まずに出席したりなど、細かい行動傾向や考え方が似ている部分がありました。

語学力については、英語や韓国語による講義を受け、試験前に時間をかけて勉強に取り組み、

韓国人の友達や日常生活を送るうえで韓国語を活用し、様々な国の留学生と会話するときに英語を使うことで、以前よりは格段に力を身に着けることができたのではないかと感じました。

留学前は、物事の大小にかかわらず、両親に聞くことで、物事を全て決めていました。しかし、留学中は、やることなすことすべて自分で決めなければならず、初めは不安だったのですが、案外やってみると、できることが多くて、自分は一人でも両親がいなくてもできることはたくさんあるのだと気づき、自信を持つことができました。また、色んなことに取り組むことで、大体すべての物事はなるようになる、やる前に思い悩んでもしょうがない、思い悩んだら他人に相談しようという割り切る性格に変わったように思います。

### (3) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

語学力はできるに越したことはないと思います。また、私は出発する前日にトランクが壊れてしまったので、直ちに新しいトランクを買わなきゃいけない状態に陥ってしまったので、出発する日の一週間前くらいにトランクの状況をしっかり確認すべきだったと思います。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

私の大学は、英語目的で留学した留学生も、韓国語目的で留学した留学生も韓国語の授業と英語の授業ともに履修できることが他の大学と違うのではないかと思います。また、授業によっては、在學生と一緒に授業を受けることも可能です。日本の大学と違うことは、1講義3時間の授業なので、集中力を維持することが難しかったです。

大学では前期後期合わせて、7講義を履修していました。心理学の講義、韓国語の授業を三つ、体育、韓国の政治と社会関連の授業二つです。韓国語の授業以外は、全部英語で行われる授業だったのですが、ディスカッションの授業を避けたので、パワーポイントを見ながら、教授の話聞いていました。教授は生徒からの質問を聞き、英語で真摯に答えていました。分からない英単語が多かったので、そういう単語は無視して、分かる単語を抜き出して、少しでも理解するようにしていました。試験は教授が配布した資料から出題されたりするので、問題はなかったです。

体育は韓国生活に慣れてなかった自分のストレス解消の場となっていたと思います。身体を大きく動かし、会話成立可能か関係なく多くの留学生とスポーツ交流できたので、満足です。

韓国語の授業を取ることによって、知らなかった文法を習うことができ、日常生活で応用するという良い循環ができて良かったです。また、受講生とペアやグループを組むことが多く、その中で友達を作ることができました。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

留学中は大学にある寮で生活していました。寮は同じ場所にあるのですが、生活館と国際学舎に分かれていて、生活館は2人部屋、国際学舎はルームメイトはいるものの、個人部屋

を持つことができるという違いがあります。私は途中で生活館から国際学舎に移ったので、どちらのメリット、デメリットも理解しています。生活館は費用が安く、コンビニやジムやランドリールームが近く、どの階にもウォーターサーバーが設置されているということがメリットです。国際学舎は生活館に比べ新しい建物で、個人部屋があるというのと、部屋にトイレとシャワー室と洗面台があるという点がメリットです。デメリットはそれぞれのメリットとなっています。寮はなんとといっても、1学期約8万円から10万円という安さだったので、金銭面的に助かりました。

支出を抑えたかったというのもあって、大学に三つある食堂を平日昼夜はほとんど食べに行っていました。メニューは日替わりで変わるため、毎回どんなメニューが今日食べれるのだろうと楽しみにしていました。値段は380円～700円程度です。

講義を受けるときは、大体寮から一番離れている建物に行っていました。35人程度が入れる教室が複数あります。建物は清潔できれいでした。

留学中には工事中の建物がいくつかあったのですが、完成形を見ることができなかったのが少し心残りです。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

**語学面：**留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

語学対策講座は無いのですが、韓国語を学べる語学堂はあり、平日月曜～金曜9時から13時まで4技能を学べます。費用は10万円程度+ $\alpha$ (テキスト代)で、留学生であれば割引されるようです。(私は語学堂に入らなかったもので、詳しい内容は分かりません。)

**生活面：**生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

大学でソウルメイトという制度があり、留学生7、8人につき韓国人在学生がサポートするというものです。どこに施設があるのか、銀行の手続きの仕方などで分からないことがあったら相談でき、そのグループで数回、食事会や遊びなどに行くことがあります。

学期の初めはwelcome party、学期末はfarewell partyがあり、学期中はスポーツイベントやハロウィンパーティーなどのイベントも開催されます。

**資金面：**現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

GKSという韓国政府が提供する奨学金があります。

### (4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

公立大学なので、大学の周辺は私立大学と比べるとお店が少なく、明洞や弘大などの繁華街は離れているので、治安は良いです。

最寄りのフェギ駅周辺にはお店はたくさんあります。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

食費も寮費も安く、学生には金銭面的に優しい大学であると思います。一つの言語だけを勉強するのではなく、韓国語と英語を同時に勉強できたり、韓国人大学生や他国の交換留学生と交流を持てることもまた、良いところだと思います。

図書館も広く、大学内にカフェもあるので、勉強する環境も整っています。

六月と九月に開催される学祭は、日本と同じようなサークルや部活が運営するブースはもちろん、有名な韓国人歌手や KPOP グループ、ラッパーなどが来たり、キッチンカーが来たりして、とても盛り上がります。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Lifestyle physical activity 1	
Psycholinguistic and acquisition	
Korean politics and diplomacy of 2 Koreas	
Korean politics and society	
Intermediate Korean2	
Practical Korean2	
Practical Korean3	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ( )

(2) 宿舎の探し方

大学の斡旋 / 自分で探した / その他 ( )

⇒自分で探した / その他の場合のその方法と良かった点・悪かった点

(3) 家賃

月額 (現地通貨) 約 18 万～25 万ウォン、(日本円) 約 1.8～2.5 万円

(4) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (大学の食堂、コンビニ、外食)

(5) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ( )、計 分

## (6) 感想、良かった点・悪かった点

宿舎は生活館、国際学舎の二つあり、国際学舎ではルームメイトは2~4人いるのですが、個人部屋を持つことができるので、一人の時間を持つことが非常に良かったです。寮には食堂はないのですが、その分、コンビニやキッチンがあるので食についてはそこで済ませることができます。ジムもあるので、運動したいときは使っていました。

さらに、寮内にゴールデンレトリバーの「ヌリ」もいて、そのゲージを通るたびに癒されていました。24時間、寮入口に管理人さんがいるのでセキュリティー面も安心です。

各部屋にはエアコンとオンドルまたはヒーターがあるので、夏冬も快適に過ごせるのではないかと思います。

## 4. 費用について

### (1) 学 費(1学期)

(現地通貨) 約100万ウォン、(日本円) 約10万円

※友達から聞いただけなので正確な情報は分かりません。

### (2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ( )、(日本円) 約3万7千円(渡航制限があったので高めです)

### (3) 生活費 (宿舎費を含めた金額を記載してください。)

(現地通貨) 月額 年額 約90万ウォン、(日本円) 約9万円

### (4) 費用の持参方法

国際ブランドプリペイドカード / クレジットカード / 現金 / その他 ( )

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

韓国はVISA, Master, JCBなど全般使用できるのですが、店によって、カードが使えない場合がありますので、複数のブランドのカードを持参したほうが良いと思います。ただし、持ってきすぎると、紛失した時、気づくのが遅れてしまうので、3枚程でいいのかなと思います。

カードだと手数料がかかってしまうので、なるべく現金を使うようにしていました。また、日本で両替すると手数料が大分かかってしまうので、日本円を韓国に持って来て、両替したほうが良いと思います。

外国人登録証を取得すると、銀行で口座を開設できるので、その後はそこでもらったカードで決済するようになっていました。

## 5. 保険について

### (1) 保険会社名

東京海上日動火災保険

(2) 保険料

116,620 円

(3) 加入した保険の種類、内容

長期の歯科治療付きの保険を選択しました。

傷害死亡、傷害後遺障害、疾病死亡、治療・救援費用、歯科治療費用、留学生賠償責任、生活用動産、寄託手荷物遅延、航空機遅延

(4) 感想、良かった点・悪かった点

腹痛とかはあったのですが、幸運なことに留学中は病院にお世話になることがなかったので、保険を使用することはありませんでした。保険に加入しているだけで、気持ちに余裕を持って過ごすことができましたと思います。保険は私にとって、お守りでした。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ( )

(2) 持って行って良かったと思う物

パソコン、インスタント味噌汁、緑茶のティーバック、ふりかけ、日本のお菓子、変圧器、延長コード、モバイルバッテリー、まくら、小さいぬいぐるみ、家族カード、大小のエコバック、腹巻、総合風邪薬、コンタクト1年分、家族や友達との写真など

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

ノート、洗濯ネット、洗濯用せっけん、化粧系全般、文房具類、ウエットティッシュ、コンタクト洗浄液など

(4) 持って行けば良かったと思う物

保険証、接種証明書、レッグウォーマー、カイロ(冬のみ店で売ってる)、替えの充電器など

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業後、前期は部屋で、後期は図書館で授業の予習復習、他の勉強をしていました。平日の昼夜のほとんどは学内の食堂を利用していました。また、たまに友達とカフェで談笑した

り、勉強したりしていました。

## (2) 週末

友達と遠出して1日中遊んだり、部屋で映画鑑賞をしたり、家族と電話したり、勉強したりしていました。

## 8. 後輩へのアドバイス等

留学に行きたいという思いがあれば、ぜひチャレンジしてみてください。留学に行く前は不安で心がいっぱいになるかもしれませんが、留学をしたら、その不安は徐々になくなっていくと思います。私は留学前からホームシックに陥り、どうして留学という道を選んだのだろうと何度も後悔しました。なぜなら英語と韓国語の使用に自信がなかったことと、長期間、親元から離れることは初めてだったからです。留学してから一か月後までは早く日本に帰りたいたと思っていました。しかし、その後は傷つくことや怖気づくこともありました。なるようになるさ精神で、一人での生活に慣れたことで自信がつき、もっと勉強頑張りたい、韓国生活を頑張ろうと思えるようになれました。そして、様々な国出身、韓国人、日本の異なる地域出身の友達に会い、色々な経験をしたことにより、今では韓国留学を決めて非常に良かったと思っています。人生で一番濃い、充実した10ヵ月でした。

留学をすることによって、今まで知らなかった自分の性格、日本が世界からどう思われているか、客観的な日本の特徴を認識したり、外国への見方、考え方が広くなり変わっていき、自分に自信がついていくと思います。

一番重要なのは健康なので、健康第一に留学先の文化や社会を理解し、たくさんの人と出会う機会を大切に、なるようになるさと気負うことなく、留学生活を楽しんでください。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

韓国に来て驚いたことは、トイレはトイレットペーパーを流せない場所が多いことと、喫煙者が多いことと、アイスアメリカノは寒い冬でも多くの韓国人に愛される飲み物であること、カフェはチェーン以外に個人経営が多くおしゃれであること、物価が日本と変わらないことなどです。

日本と違うところが意外に多いので、沢山探してみてください。